

■小金井良精 解剖学者、人類学者。日本人の解剖学者の草分け。

こがねいよしきよ

五ヶ国条約・1858＝ 越後国長岡で、代々藩家老小金井良達の次男に生まれる。母は小林虎三郎の妹。幼名銚之助。

薩摩藩士密航1865＝7歳：祖母から、「大学」により初めて文字を習う。
薩長同盟・・・1866＝8歳：祖母が死去。師について、読書し書を学ぶ。
大政奉還・・・1867＝9歳：藩の学問所(崇徳館)に入る。
明治維新・・・1868＝10歳：戊辰戦争で長岡藩壊滅、一家も困窮、
戊辰戦争終・・・1869＝11歳：秋田求馬の養子となり、名を栄雄と改める。
初の日刊新聞1870＝12歳：養家とともに上京、永田町の牧野家邸門に住み、小松彰の食客となる。大学南校に入学、英語を学ぶ。
廃藩置県・・・1871＝13歳：文部省新設により学制改革された大学南校に、試験に及第して、再び入学するが、
学問のすすめ1872＝14歳：秀精と改名。保証人だった小松彰の弟の件で退校、小松彰の好意で、本郷進文社に通うも、養父が死去。
勉学の目的も無く、小松氏に頼り続けるわけにも行かず、気分は滅入るばかりのところ、叔父小林雄七郎の
勧めで、**医学を志し、医学校に入学。**

明治6年政変 1873＝15歳：夏期休暇で帰郷、4年ぶりに両親と対面。試験に合格し、官費生となる。

初の民間工場1875＝17歳：故あって帰郷し、良精と改名。以後毎年、夏に帰郷。

三つの反乱・1876＝18歳：ベルツ博士について生理学を始める。富士山に登り、病気の叔父連れ、熱海に行く。

西南戦争・・・1877＝19歳：この年、医学校が開成学校に合併され、東京大学となる。叔父が死去。

沖縄県編入・1879＝21歳：父が死去。

・・・1880＝22歳：**首席で卒業、医学士となる。血尿出た不安を払拭し、小松八千代と婚約後、ドイツ留学、**

明治14年政変1881＝23歳：**ベルリン大学に入学し、ライヘルトにつく。**

新体詩抄・・・1882＝24歳：**ストラスブルク大学に移り、ワルダイエルについて、解剖学などを専攻。個人教授でフランス語と絵を習い、芝居見物など夜の生活も楽しんで暮らすうち、**

岩倉具視没・1883＝25歳：持病となっていた尿の問題で入院。退院後も不調ながら、「網膜生成論」をまとめる。**ベルリン大学に移ったワルダイエルから、ドイツでは日本人初となる助手として呼ばれ、ベルリンに戻る。**

内閣発足・・・1885＝27歳：***帰国。東京大学講師となり、日本人初の解剖学講義。八千代と結婚するも、**

帝国大学始・・・1886＝28歳：**妊娠が原因で発病し、死去。教授になる。**

国民之友始・・・1887＝29歳：帰郷して、戻ってくると、郷里で妹が急逝の報。**多数の論文発表し、東京医学会・人類学会で講演。**

初の対等条約1888＝30歳：小松彰が死去。***森鷗外の妹喜美子と再婚。医学博士号を受ける。北海道でアイヌの体格測定調査。**

帝国議会始・・・1890＝32歳：当時東大で人気のあったボートレースで医科が初勝利。長男が誕生。第1回日本医学会で講演。

大本教・・・1892＝34歳：小松彰からの借金を完済。恩人原桂仙が死去。明治生命保険に入ろうとするも持病でできず失望。

郡司千島探検1893＝35歳：長女が誕生。医科大学長に就任、以後3年務める。

日清戦争始・・・1894＝36歳：自転車に熱中し、遠出。

日清戦争終・・・1895＝37歳：清国捕虜の体格測定。

白馬会・・・1896＝38歳：次女が誕生。曙町に自宅を建てて引っ越し、以後、生涯ここに住むが、度々盗人に入られる。

子規句歌革新1898＝40歳：肺炎で入院。大日本医師会が提出した法案に、東大医学関係者らと反対運動。勲四等瑞宝章。

Bushidou・・・1899＝41歳：次男が誕生。

ビアノ産化・・・1900＝42歳：清国捕虜の体格測定結果をまとめた表を完成。パリでの万国医事会議に出席、名誉会長となり、

田中正造直訴1901＝43歳：恩師ワルダイエルとも再会して、帰国。

教科書疑獄・・・1902＝44歳：東京学士院会員となる。持病の血尿しばしば。

日比谷公園・・・1903＝45歳：ドイツ語で論文「清国兵士の計測」を完成。

日露戦争始・・・1904＝46歳：ベルリン人類学会会員に選ばれる。

日露戦争終・・・1905＝47歳：弟が戦死。

この間、子どもたち連れて近郊の行楽地に出かけること無数、

伊藤博文暗殺1909＝51歳：妹が死去。長男が医学部に入学してきて、息子に講義することになる。

韓国併合・・・1910＝52歳：ワルダイエルに招かれ訪欧。放射線電気学会万国会議にも出席。

大逆事件判決1911＝53歳：在職25年祝賀会。

明治天皇没・・・1912＝54歳：

21ヶ条要求・・・1915＝57歳：母が死去。

大正に入ると、時代はすっかりルーズになり、学生の不熱心さ・甘さに嘆かされるようになり、親しい人たちとの死別が続くようになるなか、専門の形態学的人類学の論文を発表し続ける。

大暴落・・・1920＝62歳：泉岳寺に自分の墓地を買う。

原敬首相暗殺1921＝63歳：定年で退官し、名誉教授。学術研究会議員。

水平社結成・・・1922＝64歳：義兄森鷗外が死去。

日本時代始・・・1926＝68歳：親交していた井上哲次郎に筆禍問題、以後無聊を慰める。

金融恐慌・・・1927＝69歳：昭和天皇に御前講演、終了後も興味持った天皇と陪食。

世界恐慌・・・1929＝71歳：暴漢に襲われた井上哲次郎を見舞う。

海軍軍縮条約1930＝72歳：**人類の咬合形式についての論文に組み始め苦闘、**

満州事変・・・1931＝73歳：

日中戦争始・・・1937＝79歳：教え子らによりつくられた銅像除幕式。***大論文「人類の咬合形式およびその系統発生的意義」完成。**

第二次大戦始1939＝81歳：***最後の帰郷後、病臥、以後、教室にも行かなくなり、**

年金・総武装 1944＝86歳：**没した。**